

安来高校植物図鑑（2023年3月）

春になると外へ出たくなります。校地を歩いてみましたが、安来高校に咲いている草本(ソウホン)の花はほぼ紹介しつくしたように思います。ですので、今回は木本(モクホン)すなわち樹木に手を出してみました。しかし樹木は不得意で、種類など全く見分けられません。この植物図鑑も4年目を迎えました。いつまで続くかわかりませんが、私自身の勉強も兼ねていますので、もう少しお付き合いいただければ幸いです。

ミザクラの仲間（実桜）

春といえばやはり桜。安来高校で最初に咲く桜はこれではないかと思えます。そう、サクランボの花、ミザクラの仲間です。オウトウ(桜桃)とも言うそうです。「サクランボって桜なの？サクランボって花が咲くの？」と疑問を投げかける方がよくいらっしゃいますが、見ての通り桜ですし、花も咲きます。花は白色で、ソメイヨシノのようなピンク色はありません。すると続いて「ソメイヨシノにもサクランボが



できるの？」と聞かれますが、小さい小さい実ができていのは見たことがありますし、しかも食べられない(美味しくない)と聞いたことがあります。サクランボという名前は、その昔「桜の坊」と呼ばれていたものが徐々になまったのではないかとされています。サクランボの写真は2022年6月に掲載しました。今年も美味しいサクランボが実るといいですね。

ツバキの仲間（椿）

ヤブツバキでしょうか。濃い緑色の葉に赤い花がくっきりと映えます。花の多さは圧巻で、右下の写真のように数えきれないほどの花が咲きます。花びらは5枚、花の中央に立っているのはおしべの集団です。ツバキの仲間は1つの花がそのままポトッと落ちるのが特徴で、木の下を見ると花が多数転がっています。ツバキに似た花の代表としてサザンカ(山茶花)の赤い花があります。サザンカは花がそのまま落ちるのではなく、花びらが1枚ずつ落ちていくので、簡単に見分けることができます。サザンカは冬になると木の下に花びらのじゅうたんが出来上がり大変美しいです。



サザンカは12月頃までに花が終わりますが、その後になってツバキが咲き始めるので、季節でも見分けることができます。

